

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【公開番号】特開2016-26438(P2016-26438A)

【公開日】平成28年2月12日(2016.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2016-010

【出願番号】特願2015-173915(P2015-173915)

【国際特許分類】

H 04 J 13/12 (2011.01)

【F I】

H 04 J 13/12

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月6日(2016.6.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線通信方法であって、

1以上のベクトルでシフトレジスタ出力値をマスクすることにより、シーケンスジェネレータ用のサイクリックシフトを生成することと、ここにおいて、ベクトルは、シーケンスジェネレータ多項式及び所望のサイクリックなシフトから生成される、

前記シーケンスジェネレータの所望の将来の状態の直前に発生する連続するビットのシーケンス

を生成するために、前記出力値及び前記ベクトルの一部に基づいて前記シーケンスジェネレータを将来の状態へ進めることと、

前記シーケンスジェネレータのシフトレジスタを初期化するために、前記連続するビットのシーケンスを使用することと

の動作を実行するようにコンピュータ可読記憶媒体に記憶されたコンピュータ実行可能指示を実行するプロセッサを使用すること

を備える、無線通信方法。

【請求項2】

前記シーケンスジェネレータ用の1以上のmシーケンスを生成することをさらに備える、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記mシーケンスは、ゴールドシーケンスを形成するためにセットとして組み合わせることをさらに備える、請求項2記載の方法。

【請求項4】

少なくとも2セットの前記mシーケンスの排他的OR演算によって前記ゴールドシーケンスを形成することをさらに含む、請求項3記載の方法。

【請求項5】

モジュロ2加算器を介して前記サイクリックシフトを生成することをさらに備える、請求項1記載の方法。

【請求項6】

前記モジュロ2加算器を介して付加的な多項式値を生成することをさらに備える、請求項5記載の方法。

【請求項 7】

少なくとも 2 セットの m シーケンスに異なるマスク値を適用することをさらに含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 8】

通信装置であって、

1 以上のベクトルでシフトレジスタ出力値をマスクすることにより、シーケンスジェネレータ用のサイクリックシフトを生成することと、ここにおいて、ベクトルは、シーケンスジェネレータ多項式及び所望のサイクリックなシフトから生成される、

前記シーケンスジェネレータの所望の将来の状態の直前に発生する連続するピットのシーケンスを生成するために、前記出力値及び前記ベクトルの一部に基づいて前記シーケンスジェネレータを将来の状態へ進めることと、

前記シーケンスジェネレータのシフトレジスタを初期化するために、前記連続するピットのシーケンスを使用することと

を行うための指示を保持するメモリと、

前記指示を実行するプロセッサと

を備える、通信装置。

【請求項 9】

前記シーケンスジェネレータ用に使用される 1 以上の m シーケンスを生成するための指示をさらに備える、請求項 8 記載の装置。

【請求項 10】

前記 m シーケンスは、ゴールドシーケンスを形成するためにセットとして組み合わせるため指示をさらに備える、請求項 9 記載の装置。

【請求項 11】

少なくとも 2 セットの前記 m シーケンスの排他的 OR 演算によって前記ゴールドシーケンスを形成するための指示をさらに備える、請求項 10 記載の装置。

【請求項 12】

モジュロ 2 加算器を介して前記サイクリックシフトを生成するための指示をさらに備える、請求項 8 記載の装置。

【請求項 13】

前記モジュロ 2 加算器を介して付加的な多項式値を生成するための指示をさらに備える、請求項 12 記載の装置。

【請求項 14】

少なくとも 2 セットの m シーケンスに異なるマスク値を適用する指示をさらに備える、請求項 8 記載の装置。

【請求項 15】

コンピュータ上で動くとき、請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の方法を実行するための指示を備える、コンピュータプログラム。